

令和2年7月22日（水）

「ウミガメの不消化物分類調査をおこないました」

7月7日（火）と20日（月）、大槌町赤浜地区にある東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター（以下、東大海洋研センター）において、ウミガメの糞に含まれる不消化物の分類調査をおこないました。本活動は東大海洋研センターの福岡拓也先生にご指導いただき、7日は3年生男子3名、20日は3年生男子3名と3年生女子2名が参加しました。

毎年夏になると大槌湾にやってくるウミガメ。彼らが何を食べているのか、また何を誤飲しているのかといった視点から、ウミガメの生態や海洋環境を調査するのが本活動の目的です。あらかじめ洗浄された不消化物をピンセットを用いて選別するのですが、なかなか細かく、生徒たちは終始目を凝らして懸命に観察・分類していました。

調査後は今年大槌湾で捕獲されたウミガメに会いに行きました。生徒たちはウミガメを見るのも触るのも初めてで緊張していましたが、貴重な交流を楽しんでいました。

